姿勢保持装置費支給意見書 (書面判定用)

氏名								生星月	年日	昭和 平成 令和	2	年	月	日	年齢	歳
現住所												電話		_	_	
障がい名								傷病								
等級					種		級	名		症年月			年		月	日頃)
現在の状態について具体的障がいの状況		勢保持	装置が。	必要と記	認められ	れる理由	自が明石	雀とた	なる。	よう記入	してく	ださい	`)			
学的に記入してください 身体上の特記事項		併症や具	事体の?	変形等	、身体	状況に	ついて	特記	ごす	べき事項	で全	て記	入してく	ださい	')	
見込まれる効果使用の目的及び																
医師意見																
上記 <i>0</i> 令₹	りと‡ 和	3り診断 年	する。 月		日		医療棒医療棒	電	話者	备号						
		<i></i>					医師	•		石)。廿				戶		

* 状況により、身体障害者相談センターでの直接判定が必要な場合があります。

^{*} 意見書作成医師の要件は、身体障害者福祉法第15条第1項に基づく指定医、指定自立支援医療機関の医師、国立障害者リハビリテーションセンター学院で行う補装具適合判定医師研修会を終了している医師のいずれかであり、かつ現に重度心身障害者の療育に携わっている医師が望ましい。

^{*} ご不明な点がありましたら身体障害者相談センター(電話 0985-29-2556)までお問い合わせください。